

# 優秀賞（朝日新聞社賞）

## スウィートポップコーン

代表者 国本 拓也（福祉分野／山口市）

### 活動の動機・目的

心身の発達が気になる子どもたちや障がい児等は、一般のダンス教室には馴染めず、ダンススポーツにふれあう機会に乏しいのが現状。障がい児の母親の交流団体「のびのびフレンズ」のダンス部が前身。音楽を聴けば自然に身体が動く知的障がい児者達に身体を動かす楽しみや音楽を身体で表現する喜び、仲間と一緒に活動する一体感を体験させ、より豊かな心を育てることを目的としている。

### 活動の内容

ダウン症の人が大半で、筋力が弱く、団体競技などのスポーツは苦手。一方でリズムのある動きが好きなことから「ダンスで子ども達が楽しく身体を動かし筋力アップになれば」との思い。ダンスパフォーマンスを直接観て頂くことで、障がい児者のありのままの姿を社会に発信し、障がい児者に対する偏見や差別を無くし、理解と協力が得られ、交流が深まる地域や社会になるように啓発活動を行う。

○レッスンはスウィートコーン（3歳～小学生）月2回1時間、ポップコーン（中学生～成人）毎週土曜日1時間30分。ダンスはヒップポップ系で、流行曲から洋楽まで幅広く踊っている。専門の講師を福岡から招く。子ども達がレッスン中に、月に1度はママ交流会をして色々な情報を交換している。その時間ママはほっとできて楽しくおしゃべりしている。

○北九州市小倉にある知的障がい者モダンバレエチーム「ハッピーエンジェル」と相互に交流。

○第1回 知的障がい児者ダンスフェスティバル「ホップ♪ステップ♪♪ジャンプ♪♪♪」開催。「スウィートポップコーン」主催。出演は他に、モダンバレエチーム「ハッピーエンジェル」、「就労継続支援みのり苑」。4月から本格的に準備を始め、衣装は母親の手作り。ボランティアとして山口大学、県立大学の学生3名が、来場者のサポートや控室でのサポートにあたる。

○地域のイベントやお祭りに出演

- ・オゴオリザクラ祭り
- ・赤い羽根共同募金会イベント
- ・山口県障がい者芸術文化祭
- ・小郡福祉まつり
- ・はあ〜と of ふれんず障がい者の祭典等に出演。

※子ども達は、舞台上で活動できる、表現できる喜びがあり、練習ではみせない素晴らしい笑顔で踊っていた。スポットをあびた喜びはこのような舞台ならでのこと。母親達は、子どもたちがやりたいという願いを叶え、輝いた姿に成長を見ることができ、将来を不安に思う中、達成感を感じられた。

### これからめざしたいこと

「ダンスフェスティバル『ホップ♪ステップ♪♪ジャンプ♪♪♪』」では、家族や施設の人もたくさん来てくださって、会場はいっぱいになったが、一般の人に向けてもっと発信することが必要。今回の成功をふまえ、2、3年後にも是非開催したい。まだ障がい児に対する偏見は強く、これからもイベント等に参加し、ダンスを通して子どもたちが地域に溶け込めるようにしていきたい。



山口県障害者芸術文化祭出演



『ホップ♪ステップ♪♪ジャンプ♪♪♪』にて